

授業科目名	老年看護学実習Ⅱ	担当教員名	教授 原 祥子 他		
開講年次及び学期	4年 前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	実習	時間数	45	単位数	1
授業概要					
<p>加齢や疾病に伴う健康上の問題をもつ高齢者を理解し、多様な場で障がいもちながら生活している高齢者とその家族に必要な看護を査定し実践するための基礎的な能力を修得する。また、継続看護および他職種・他部門との連携の必要性とチームにおける看護職の役割を理解するとともに、看護職者としての倫理観や高齢者観を養う。</p>					
G I O (教育目標)					
<p>健康問題をもって施設で生活する高齢者とその家族の特性を理解し、健康レベルに応じた援助について学ぶ。また、老年期を生きる人々とその家族を支えるケアシステムの役割・機能について理解し、諸機関・他職種との連携・協働のあり方と、その中における看護専門職の役割と責任について学ぶ。</p>					
S B O (到達目標)					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康問題をもって施設で生活する高齢者とその家族の特性を説明できる。 2. 高齢者が抱えている健康問題や、望む生き方・暮らし方について説明できる。 3. 健康問題をもつ高齢者の日常生活上の課題を理解し、残存機能と強みを活かしたケアの実践について説明できる。 4. 高齢者の反応を捉えながら、ニーズに沿った援助を施設スタッフとともに実施できる。 5. 施設内のチームケアのあり方について説明できる。 6. 高齢者ケアの場における諸機関との連携・協働のあり方について説明できる。 7. 高齢者ケアの場における高齢者の人権擁護の課題を明らかにし、看護者の役割を説明できる。 					
成績評価の方法					
<p>実践内容、実習記録等の内容・提出状況、実習態度、カンファレンスへの参加状況、自己評価および実習指導者の意見などを総合して担当教員が評価する。</p>					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材					

授業計画

【実習期間】

- 1) 3年生の3月：第1回 学内オリエンテーション、施設訪問
施設訪問報告書の作成・提出、実習自己目標の設定
- 2) 4年生の4月：第2回 学内オリエンテーション、施設実習5日間

【実習場所】

島根県内の介護老人保健施設

【施設訪問の進め方】

- 1) 実習を行う施設に訪問し、実習指導者から臨地オリエンテーションを受ける。
- 2) 施設訪問報告書を各自が作成し、グループにつき1部提出する。
- 3) 実習自己目標を設定する。
 - (1) 老年看護学実習Ⅰで経験したことや学びを振り返り、老年看護学実習における自己の課題を明確にする。
 - (2) 施設訪問時の臨地オリエンテーションをふまえて老年看護学実習Ⅱの実習自己目標を設定する。
- 4) 実習自己目標は、担当教員を通して実習施設へ提出する。

【施設実習の進め方】

- 1) 学生の実習自己目標を加味して実習指導者が立案した5日間の実習行動計画表をもとに、日々の実習目標・計画を立てて実習を行う。
- 2) 日々の記録は、グループリーダーが学生分をまとめてクリアーホルダーに入れ、実習指導者に提出する。
- 3) 実習施設のケアスタッフとともに、食事、排泄、更衣、入浴、整容、レクリエーション、リハビリテーションなどの援助を実施する。
- 4) 通所リハビリテーションに参加する。
- 5) 実習施設の状況に合わせてサービス担当者会議（ケアカンファレンス）に見学・参加する。
- 6) 各自の実習体験を通して感じたり考えたりしたことを言語化し、グループメンバーで共有することによって、学習経験を豊かにする機会とするためにカンファレンスを行う。
- 7) 実習を通して心に残ったことや疑問に感じたことを振り返り、老年看護のあり方について自らの考えを深めるためにレポートを作成する。

備 考

- ・別に配布する「臨地実習の手引き」を参照のこと